中間業績報告

A0x

研究課題名

この部分は、年次報告書としてWebで一般に公開されます。

（このボックスは消して提出してください）

研究代表者　xxxx（大阪大学）

研究分担者

**研究目標**

研究課題の目的を記述ください。

**研究成果**

* H25-26年度の研究成果を研究計画と対応させて記載してください。
* 図表を入れて記述してください。
* 共同研究の成果については、その旨記載願います。現時点で公開が不適切とおもわれる成果、進行中の研究については、別項目の非公開部分に記述して下さい。
* 研究計画で直接ふれられていなかった成果に関しても、適切と思われる物については記載ください。

成果まででおよそ2ページを目安に作製してください。

**その他のアクティビティー、受賞など**

この部分は、中間評価用資料、および、事務局で編集して年次報告書に記載します。

* 新聞報道、雑誌表紙採用などがある場合は、「xx新聞掲載」とし、画像ファイルを貼り付けてください（紙面が足りない場合は追加してください）。
* 関連する国際・国内シンポジウムを開催した場合は、シンポジウム名、詳細がわかるwebリンクなど
* 若手育成に関連する項目として、学生の受賞、若手研究者のプロモーション、予算獲得など
* アウトリーチ活動として、一般向けや高校生向けの講義・講演会など

**論文リスト(H25-H26) 公募班はH26のみ**

この部分は、中間評価用資料、および、事務局で編集して年次報告書に記載します。

* 平成25-26（公募班は平成26）年度分のリストを年度ごとに分けて作製してください。
* Webに入力された分に関しては、班別のひな形ファイルを用意していますのでご利用ください。
* 共同研究の成果の場合は、末尾にその旨記載願います。
* 中間評価報告書用のフォーマットに書式を整える必要がありますので、下のとおりにおねがいします。

タイトル, 著者名（\*研究代表者には二重下線, 研究分担者には一重下線、連携研究者には点線下線、corresponding authorには左側に \*）, 雑誌名, 巻, 開始ページ-終了ページ, 年 【共同研究などの、特記事項】.

Syntheses of a series of Zinc(II)/freebase porphyrin dimers and trimers with programmable sequences from a common key molecule, T. Tamaki, T. Nosaka, \*T. Ogawa, The Journal of Organic Chemistry, 79, 11029-11038, 2014. 【A01-A03 共同研究成果】

#Webデータベースに入力されていないもの、訂正が必要な部分は、青字で記載してください。

**発表リスト (H25-H26) 公募班はH26のみ**

この部分は、中間評価用資料、および、事務局で編集して年次報告書に記載します。

* 口頭発表リストを年度ごとに、国内学会、国際学会に分けて作成してください。
* 国際学会における学生の発表に関しては、【学生発表】と末尾に記載願います。
* 共同研究に関する発表の場合、【A01-A03 共同研究】、【A01内共同研究】など、記載ください。

H25

国際学会

１）A. Handai, B. Osaka and C. Toyonaka, “Synthesis of ….”, International Conference on…., Nov.1-3, 2013 (Paris)【招待講演】．

国内学会

1）阪大太郎、豊中次郎「・・・・」、応用物理学会、11月1日（東京）．【A01-A03 共同研究成果】

**研究・共同研究の推進状況および今後の計画（非公開）**

領域運営のための資料として使用します。領域関係者以外には、公開されません。

・現在進行中の研究などの成果を含め、今後の計画をなるべく具体的にわかりやすく記載願います。

・共同研究の場合は、共同研究の相手などを記載してください。